観光振興プラン

（既存観光地の再生、新規観光地の創造による観光のまちづくり）

背景

● **自立（律）のまちづくりを進めるための地域内発型リーディング産業の振興**

地方分権時代の到来のなかで、市町村においては自立（律）のまちづくりが求められてきており、そのためには自主財源の確保・充実が欠かせないものとなっています。

観光は、地域資源の活用により成立する産業であり、また、域外から消費者が来て直接地域で地域の農林水産物や物産を消費してくれる内発型地場産業です。さらに、交通や宿泊、飲食、土産物など関連産業の幅も広く、関連産業の直接的な消費支出が拡大するなど波及効果も大きく、地域経済や雇用の再生、財源の拡充に重要な役割を果たします。

● **交流による地域活性化と快適な環境・景観の形成**

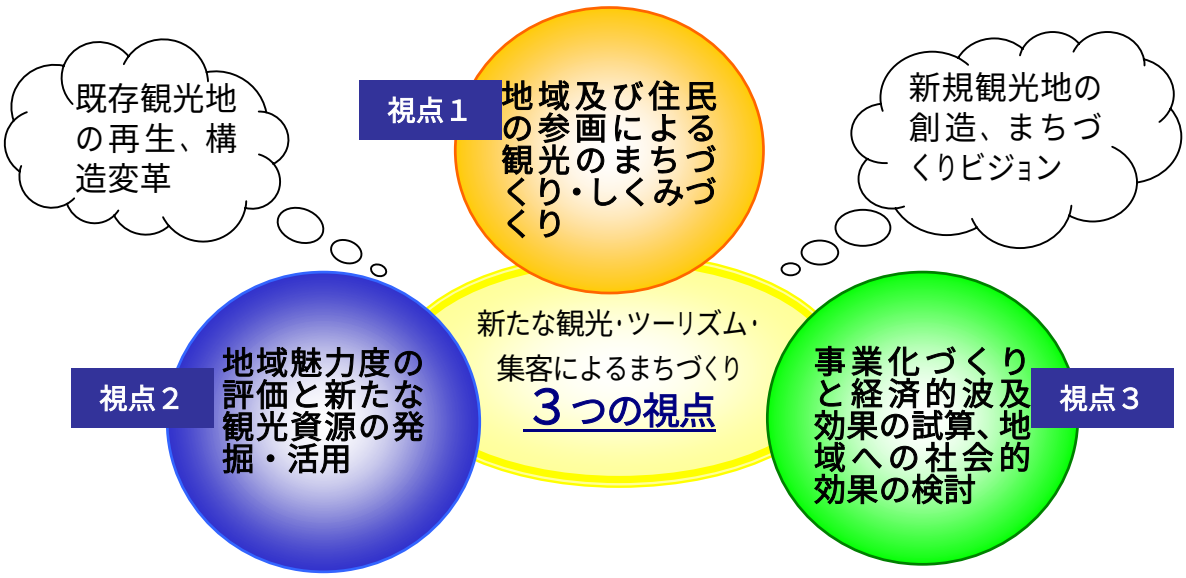
観光が振興されると、域外から訪れる人が増え、地域住民がそれらの人々と交流する機会やふれあう機会が増えることによって、地域の活性化が図られるとともに、環境や景観の保全、観光地の整備が進むことにより、住民にとっても快適で魅力ある地域となることが期待されます。

● **住民の地域への愛着と誇りの醸成**

地域固有の歴史や文化、伝統、産業等を観光資源として発掘し、磨き上げることは、人々に自らの地域の歴史や文化等を学んでいく気運を醸成させ、これにより地域に対する愛着を生み、さらに外部の人が訪れることにより自信と誇りを感じ、生きがいをもって生活していける基盤を構築できます。

本調査では、市町村にとってその振興が大きな意義をもつ「観光」について、既存の観光地についてはその再生を、新規展開を図ろうとする地域にはビジョン形成を主眼に、地域及び住民の参画のもとに、新たな観光コンセプトづくりから事業計画づくり、しくみづくりまでの体系的な観光プランの作成をご提案します。

視点



Copyright(c) 2005 GYOSEI INSTITUTE, All Rights Reserved

調査の基本フレーム

観光＆ツーリズムを取り巻く新しい潮流（ビジット・ジャパンほか）

まちづくり、地域活性化における観光＆ツーリズムの新たな役割

※規模に関係なく地域の自然環境、温泉、名所・旧跡、気候、食、産業、文化、景観、歴史、公園、匠、技術、健康福祉、医療、スポーツ、レクリエーション、公共的施設、コンベンションなどすべてが資源となる、「資源制約のない」ユニバーサル感動産業、地域密着型産業・・・・・観光、ツーリズム、集客、交流・・・・・・・・地域の自立・自律・・・・・

観光振興から観光＆地域振興＆まちづくりへ

地域の現況と課題

自然的特性
社会・産業特性
交通特性
まちづくりの課題

まちづくりにおける位置づけ

産業の振興（関連産業の振興、財政面での自主財源の確保、雇用の創造など）
快適な生活環境の形成
住民自治の推進（参画の促進）

地域観光の現状と評価

観光資源・地域資源の特徴
観光動向
宿泊収容力
入り込み観光客数
地域の魅力度評価・検討（賦存資源、活動メニュー、宿泊施設、アメニティなど）

観光まちづくりの課題

観光まちづくりビジョンの策定

基本理念と基本コンセプト
計画の目標
基本方針
施策の基本方向
まちづくりへの効果

Copyright(c) 2005 GYOSEI INSTITUTE，All Rights Reserved

観光まちづくビジョン推進のための施策

・観光資源の発掘、活用、保護
・観光施設の整備と情報ネットワークの整備
・交通ネットワークの整備・充実
・“ツーリズム”の振興
・イベント戦略
・広域観光、
・地域ブランドの確立と観光関連産業の育成
・ＰＲ・プロモーション活動（海外、修学旅行、ロケ等）
・もてなしこころとひとづくり　　・・・・・

主な施策項目
（施策・主要事業）

・美しいまちづくり
・安全・安心なまちづくり
・観光交通対策
・協働と参画による
観光地づくり
（住民・NPO・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ）

重点リーディングプロジェクトの検討

計画の推進
評価・検証・推進体制の確立
実現化ステップ

経済的波及効果の試算
産業連関分析ほか

住民参画によるしくみづくり
観光まちづくり基本条例・要綱案の作成支援
（ワークショップ）

Copyright(c) 2005 GYOSEI INSTITUTE，All Rights Reserved